⑩日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U)

昭63-43953

@Int.Cl.4

⑦出 関

識別記号

庁内整理番号

每公開 昭和63年(1988) 3月24日

B 60 N 1/08

A-7332-3B

審査請求 未請求 (全2頁)

❷考案の名称 車両用シートのスライドレール

②実 願 昭61-138239

纽出 願 昭61(1986)9月9日

砂考案者 根 本 晃

東京都昭島市松原町3丁目2番12号 株式会社タチェス内

人 株式会社 タチエス 東京都昭島市松原町3丁目2番12号

砂代 理 人 弁理士 藁科 孝雄

匈実用新案登録請求の範囲

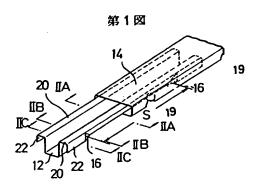
車体床面に固定したロアレールと、シートの側面下方で、シートに固定され、ロアレールに摺動可能に篏合されるアツパーレールとを具備し、球体が、ロアレール、アツパーレールに形成されたスライドリミツト間に挟持されて、アツパーレールの摺動が制限される車両用シートのスライドレールにおいて、応力集中の発生を避ける程度に、ロアレールの断面形状をゆるやかに変化させてスライドリミツトを形成したことを特徴とするた車両用シートのスライドレール。

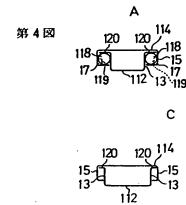
図面の簡単な説明

第1図は、この考案の車両用シートのスライドレールの第1実施例の概略斜視図、第2図Aないし第2図Cは、第1図の線IIA一IIAないしIIC一IICに沿った各断面図、第3図および第5図は、この考案の第2実施例の概略斜視図および平面図、第4図Aおよび第4図Cは、第3図の線IVA—IVAおよびIVC—IVCに沿った各断面図、第

6図はこの考案の第3実施例の概略斜視図、第7 図は、第6図の線W一Wに沿つた断面図、第8図 はこの考案の第4実施例の概略斜視図、第9図 は、第8図の線W一Wに沿つた断面図、第10図 および第11図は、公知の車両用シートのスライ ドレールの概略斜視図および正面図である。

10,110,210,310:車両用シートのスライドレール、12,112,212,312:ロアレール、13:ロアレールの側面、14,114,214,314:アツパーレール、16,116,216,316:スライドリミット、18,118,218,318:網球(球体)、19,118,218,318:網球(球体)、19,119,219,319:アツパーレールのノツチ、20,120,220,320:ロアレールのフランジ、22,222,322:ロアレールの折返し片、23:モータ、25:リードスクリユー、27:スクリユーナット、29:ロアレールのフランジと折返し片との縁。





実開 昭63-43953(2)

